

「海外に子ども用車椅子を送る会」を 支援してくださる皆様へ

2024年3月号 vol. 30

子ども用車椅子
これまでに
送り届けた国々

累計 **26** ヶ国

9,716 台

2024年2月現在

世界の肢体不自由の子どもたちに動ける喜びを



提供する

- 不要になった子ども用車椅子を首都圏特別支援学校のPTAや療育センターのご協力で収集しています。



会員になる

- 会員としての活動への参加をお待ちしています。
- 年会費は個人3,000円、法人は20,000円です。



寄付する

- 国内外の活動に経済的支援をお願いします。
- 海外へ送るには整備費・輸送費など1台約1.4万円かかります。

お振込先

郵便振替 口座記号番号: 00130-9-389966
海外に子ども用車椅子を送る会
多摩信用金庫 昭島支店 普通 3933782
海外に子ども用車椅子を送る会



活動する



- 会員でなくとも清掃、整備等の作業に参加できます。
- 毎月第2、第4日曜日に整備作業を行っています。
- 参加者の交流の場です。見学参加を歓迎します。

活動場所

海外に子ども用車椅子を送る会
拝島倉庫
福生市熊川73番地
(青梅線拝島駅より徒歩16分)

毎月第2, 第4日曜日
kaigaikurumaisu.org

詳細はHPで



職業用ミシンを購入しました



海外に子ども用車椅子を送る会

N P O 法 人

海外に 子ども用 車椅子を 送る会



活動
レポート
2024年3月 第30号



マレーシアの子どもたちに90台を贈呈へ

2022年10月 2台目としてのおおきめの車椅子を送りました。

一人で活動を頑張っている元Aleps Dream Factory代表のサイド氏から、「障害を持つ子どもに車椅子を提供したが、成長して体に合う二台目がないので送ってほしい」との要望を受けました。要請に応じて、未整備で送り出しました。サイド氏は子ども用の車椅子製造から整備まで手掛けています。コンテナ船は11月6日にマレーシアのポートケラン港に到着しました。当会からマレーシアに送り出した総台数は1,658台となりました。



エチオピアの子どもたちに90台を送りました

紅海およびアデン湾の緊張を乗り越え、車椅子が無事にエチオピアに届きました。

2023年11月12日、90台の車椅子を積載したコンテナ船が東京港を出ました。当初は隣国のジブチ港を経由して、内陸国エチオピア・アジスアベバには2024年1月ごろに到着の予定でした。中東情勢の緊張でコンテナ船はインド洋を迷走し1カ月以上の

大幅な遅れとはなりましたが、なんとか無事に到着しました。3月5日に、現地市政府主催で引渡し式が開催されました。50組以上の車椅子を待つ親子が参加しての式典です。日本からは、当会を日頃から支援してくれている東京昭島中央ロータリークラブの3名と当会の理事1名が参加しました。

初めて使う車椅子を瞬く間に乗りこなし、母親を笑顔で追う子どもたちに集まった人たちからも歓声があがりました。

エチオピアへは、2011年以来680台を贈呈しました。



コンテナを送り出す東京昭島中央ロータリークラブの皆さんです。



引き渡し式の様子です。



NPO法人希望の車いすと一緒にタイのRICDに20台を送りました

車椅子を提供してくれたお母さんが、車椅子を受け取ったタイの子どもたちに会いに行きました。

NPO法人希望の車いすの谷理事長から「子ども用車椅子20台を提供して欲しい」と要請があり、20台を選定し希望の車いすに渡しました。当会からの20台を含んだ120台の車椅子は11月23日にタイに向け東京港を出て、タイのチェンマイのRICDには12月5日に到着しました。車椅子を提供してくれたお母さんから車椅子を受け取った子どもに会いたいと要望が届き、当会としても応援したいと考えました。RICDの熱心な協力があり、娘さんが亡くなるまで使っていた2台の車椅子を受け取ったタイの子どもたちとお母さんとの対面が実現しました。



全寮制の学校で暮らす
11歳の男子



6歳の女の子とその家族



パキスタンの子どもたちに51台を送りました

さくら車いすプロジェクトと一緒に車椅子25台、歩行訓練器12台、他51台を未整備で送りました。

さくら車いすプロジェクトの斎藤氏から、マイルストーン特別な人のための協会に電動車椅子と一緒に子ども用車椅子を再度送りたいとの要請がありました。車椅子25台、歩行訓練器12台、他の合計51台を未整備で準備しました。さくら車いすプロジェクトと当会の車椅子を載せたコンテナ船は、横浜港を12月17日にパキスタンのカラチ港に向けて出発し、カラチには2024年1月12日に到着しました。



ウクライナの子どもたちに40台を送りました

オール・ジャパン・プロジェクトの5回目の発送で、子ども用車椅子40台の提供を行いました。

ロンドン在住のジャーナリスト木村夫妻の声掛けで始まったウクライナへ車椅子を送るオール・ジャパン・プロジェクトはその発送回数が5回を数えました。2023年12月19日にコンテナに積み込まれた第5便の280台(当会はそのうちの40台)の車椅子は、12月30日に東京港からポーランドに向けて出発、同国には2月15日に到着しました。ポーランドからは陸路でウクライナに運ばれます。

木村氏によると、これまでウクライナに寄贈した日本の車椅子は、すでにキーウの国立子ども病院の子どもたち、キーウ近郊のイバンキフ村にある介護施設の高齢者や障害者、西部テルノピル州の公立病院の負傷兵、子ども病院、児童養護施設の子どもたち、リシチャンスク市から避難されている人々のもとへと届けられ、それぞれ使用されているとのこと。

■上記の贈呈で車椅子を提供して下さった学校等は下記のとおりです。

宮代特別支援学校 千葉県立桜が丘特別支援学校 上菅田特別支援学校 千葉県立松戸特別支援学校 緑成会整育園通所センター 板橋むらさき愛育園 若葉台特別支援学校 川島ひばりが丘特別支援学校 八王子東特別支援学校 船橋夏見特別支援学校 神奈川県立座間養護学校 他、多くの学校からの提供です